

■＜参考資料＞中小企業診断士第2次試験の出題の趣旨

中小企業診断協会が公表している出題の趣旨です。

平成24年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ」の出題の趣旨

第1問（配点 20点）

A社の主力事業である金属の表面加工処理事業の経営環境の変化について、基本的理解力・分析力を問う問題である。

第2問（配点 20点）

A社の主要取引先であるY社の要請による海外進出に承諾することがなかった状況について、分析力を問う問題である。

第3問（配点 20点）

A社の海外拠点において品質保証体制を確立させる際に、障害になった事項について、組織・人事の視点から、分析力を問う問題である。

第4問（配点 20点）

A社の海外拠点の責任者に対して、本社として、どのような役割を期待しているのか、また、どのような能力を向上させていくべきかについて、助言能力を問う問題である。

第5問（配点 20点）

A社の日本本社に成果主義型賃金制度を導入する際に留意すべき点は、どういったことであるかについて、助言能力を問う問題である。

以上

平成 24 年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅱ」の出題の趣旨

第 1 問（配点 10 点）

B 社が水平的提携、垂直的提携を通じて採用することになったセグメンテーション戦略とセグメントごとのニーズに対応した製品戦略について、整理・分析する基礎的な能力を問う問題である。

第 2 問（配点 30 点）

（設問 1）

B 社と垂直的提携を行った酒販店 Z 社にとっての提携のメリットについて、分析する能力を問う問題である。

（設問 2）

B 社と水平的提携を行った大手酒造メーカー Y 社にとっての提携のメリットについて、分析する能力を問う問題である。

第 3 問（配点 30 点）

（設問 1）

B 社が地域社会との関係性強化のために行っているコーズリレーテッド・マーケティングの現状を、整理・分析する能力を問う問題である。

（設問 2）

B 社が試みているコーズリレーテッド・マーケティングが消費者の購買拡大に与える効果について、分析する能力を問う問題である。

第 4 問（配点 30 点）

B 社社長が目指す、地域における企業ブランド強化の方向性に即したマーケティング戦略を立案するための構想力と提案力を問う問題である。

以上

平成 24 年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ」の出題の趣旨

第 1 問（配点 10 点）

食品スーパーの加工部門から独立して現在に至る C 社の創業からの事業変遷を把握し、成長要因を分析する能力を問う問題である。

第 2 問（配点 20 点）

食品スーパーから外食チェーンへと顧客数が増大し、さらに製品品目が増加しているなかで生じている C 社の課題を把握し、そのための問題を解決する能力を問う問題である。

第 3 問（配点 40 点）

（設問 1）

食品スーパーを中心に事業展開してきた C 社にとって、Y 社から要請されているセントラルキッチン事業を実現するための課題を発掘し、そのための問題を解決する能力を問う問題である。

（設問 2）

Y 社から要請されているセントラルキッチン業務を円滑に推進するために、C 社に求められる生産や管理に必要な情報を分析する能力と提案する能力を問う問題である。

第 4 問（配点 30 点）

受注量の減少傾向、製品単価の引き下げ要求がある食肉製品製造業の C 社にとって、収益性を高めるための方法を分析する能力と提案する能力を問う問題である。

以上

平成 24 年度「中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ」の出題の趣旨

第 1 問（配点 40 点）

（設問 1）

D 旅館における改修工事の結果、期待される予想損益計算書を求めることで、診断および助言の基礎となる数値を算出する能力を問う問題である。

（設問 2）

改修工事の結果、D 旅館に現れた財政状態および経営成績の変化を経営分析により明らかにするために、経営が改善したとみなされる財務指標を発見し、適切に述べる能力を問う問題である。

（設問 3）

改修工事によって生じると期待される D 旅館のキャッシュフローの増分を求め、これに基づき、投資の経済性評価を行う能力を問う問題である。

第 2 問（配点 30 点）

（設問 1）

第 1 問とは異なる改善案において、予想損益計算書から固定費、変動費を求め、損益分岐点比率を求める能力を問う問題である。

（設問 2）

第 1 問とは異なる改善案において、D 旅館が要求する損益分岐点比率を達成するためのコスト削減額を求める能力を問う問題である。

第 3 問（配点 30 点）

（設問 1）

オーナーが退陣した場合の D 旅館の予想キャッシュフロー、加重平均資本コストを求め、これらの数値に基づいた企業価値を算定する能力を問う問題である。

（設問 2）

D 旅館のオーナーに対し、事業承継先候補や承継の際の課題について適切な助言をする能力を問う問題である。

以上